



カヌーが大好き！

炭田 晃希

茨城県出身

3月をもって協力隊退任となります。
今後も標茶に残りますので、よろしくお願いします！

観光協会事務局支援員の炭田です。3月末をもって協力隊は退任となりますが、これからも引き続き標茶町をPRし、経済活性化に寄与できるように活動していきます。

振り返ると3年間はとてあつという間でした。SL冬の湿原号など観光列車やオータムフェストをはじめとした町内外のイベントに参加し標茶町をPRし旅行者の方とお話することができました。

反響が大きかった、転勤・引っ越してきた方を対象とした「しべちゃを知る日帰りバスツアー」は今年も実施が予定されています。決まり次第SNSなどで告知されますので興味のある方は参加してもらえると嬉しいです。

また、弟子屈・鶴居の観光協会との広域連携事業では台湾でのイベント出展や旅行会社を招待した視察ツアーを開催し、地域の食やアクティビティの魅力を体感いただきました。現在は台湾の旅行会社主催のひがし北海道のツアー販売に向けて調整、準備しています。

最後に協力隊の起業支援制度を活用して「北海道観光デザイン」という旅行会社を立ち上げました。道東ホースタウンプロジェクトの「うまたび」や「ぼん・ぼんゆ」などと協力し地域の旅行会社として事業を行っています。標茶からのお出かけもお手伝いしますので、気軽に問い合わせください。

これからもどうぞよろしくお願いします。



自然が大好き！

中道 智大

千葉県出身

3月をもって協力隊退任となります。
あつという間の4年間。本当にありがとうございました！

早いもので、私が標茶町に地域おこし協力隊として着任させていただいてから4年が経ちました。振り返ればあつという間の4年間で、しかしながらとても濃い時間をこの標茶町で過ごさせていただいたと思っています。誰も知り合いもツテもなかった私を優しく受け入れてくださった標茶町民の皆様、改めてこの場で御礼をお伝えさせていただきます。

私は主にYouTubeやSNSを通して写真・映像で標茶町の魅力を発信してきました。雪が1cm積もれば大喜びしていた場所に暮らしていた私にとって、自然豊かな標茶町の四季はどの季節も本当に美しく、驚きと感動を与え続けてくれました。鹿や狐を見つけるたびに道路脇に車を寄せては観察し、スーパーへ買い物に行くのに往復3時間かかることも珍しくありませんでした。初めて見た多和平の広がり、これが北海道かと感嘆し、その日の夜見上げた星空の美しさあまりに鮮明に見えずぎたために感じた恐怖を昨日のこのように思い出します。少しずつ町の雰囲気や環境にも慣れてきて、今はもう新たな視点でこの標茶町という町を見つめている自分がいます。それは決して悲観的なことではなく、一町民としての視点を持つことが出来たということでもあります。

これからもこの町の一員として、YouTubeや各SNSを通して標茶町の魅力をPRしていきたいと強く思っています。そして何より自分自身がこの町での暮らしを楽しむこと、それは今後ずっと変わりません。これからも標茶町の一員として、この町を愛する者として標茶町で暮らし、この町と共に生きていきたいと思っています。





リンク跡でお絵描き大会！

3/4 みどり認定こども園のひまわり組のみんなが、スケートリンクの跡地で、食紅を使ってお絵描きを楽しみました。広々としたスペースいっぱい、思い思いの絵を描きながら、友だちと笑い合ったり、色を混ぜたり楽しみました。色とりどりの絵が広がり、子どもたちの笑顔も輝いていました。鮮やかな色彩に包まれたスケートリンク跡地は、まるで大きなキャンパスのようでした。



全道へ挑戦！力を一つに 標茶柔道スポーツ少年団

3/3 柔道団体地区予選で準優勝し、全道大会へ出場を決めた標茶柔道スポーツ少年団の4人が、その報告のために役場を訪れました。標茶小4年の矢島さん（右から3人目）は「優勝できるように、全員で協力して頑張りたい」と意気込みを語りました。



ミルクックさん & ハッピーくろべえと一緒に

3/3 釧根東部運輸（伊藤正和代表取締役）から、町内の各認定こども園・保育園に、ミルクックさんとハッピーくろべえのラッピングを施したトラックを背景に園児を撮影した写真を寄贈していただきました。



家畜衛生向上に大きく貢献 41年の尽力に荣誉

3/3 久保田学さんが令和6年度第57回宇都宮賞を授賞されました。41年間にわたり臨床獣医師として尽力し、家畜衛生の向上・生産性向上に貢献したことが評価されました。退職後も地域のリーダーとして活動を続けています。久保田さんは「賞をいただいたことは、今後もまだまだ頑張れということだと思うので、標茶で色々なことに関わっていきたい」と話されました。

未来を担う若者のために



あれば、活用して欲しい」と話されました。

3/6 久保田学さんが、上記授賞した副賞の一部を町へ寄付してくださいました。久保田さんは、「就農支援や学育・食育、酪農教育ファームなど、若い人たちのために活用できる機会が



女性農業者の未来を開く 産業貢献賞授賞

3/4 千葉澄子さんが令和6年度北海道産業貢献賞を授賞されました。「ならの木学級」や「しべちゃ町農業女性カレッジ」の設立など、女性農業者の経営感覚・営農技術を磨く取組に尽力し、さまざまな団体の役職に就任し、女性農業者を牽引してきたことが評価されました。千葉さんは「情熱はまだあるので、まだまだ頑張っていきたい」と話されました。

教材を寄贈していただきました



3/4 標茶町農業協同組合（千葉澄子代表理事専務）がJAバンク食農教育応援事業の一環として「JAバンク補助教材」を寄贈してくださいました。同教材は小学校へ配布されました。

あんしんネットワーク連絡会議



2/21 本町では毎年1回、高齢者の課題に対応するため、関係機関と連携し情報共有を行う会議を開催しています。当日は標茶町立病院の看護副院長、社会福祉協議会のケアマネジャー、地域包括支援センターの職員が「認知症の人や家族への相談対応」についてパネルディスカッションを実施。さらに、参加者は「しべちゃ認知症ガイド（ケアパス）」をテーマに意見交換を行いました。

2/21 本町では毎年1回、高齢者の課題に対応するため、関係機関と連携し情報共有を行う会議を開催しています。当日は標茶町立病院の看護副院長、社会福祉協議会のケアマネ

釧路町との広域連携ブランド化推進



2/7 本町は釧路町と連携協定を締結し、地場産品を組み合わせた商品開発などの取組を続けています。釧路町地産地消センター「ロ・バザール」で、未利用海藻「ホンダワラ」を餌に混ぜ肥育した牛の調査報告会が開催されました。海藻を与えた牛は4年連続で肝疾患がなく、アニマルウェルフェアの観点で売り出すことに期待の声が寄せられました。

2/7 本町は釧路町と連携協定を締結し、地場産品を組み合わせた商品開発などの取組を続けています。釧路町地産地消センター「ロ・バザール」で、未利用海藻「ホンダワラ」を

虫歯0でいい笑顔

3歳児健診で虫歯がなかったよ

〈令和7年2月20日撮影〉



ひいろ
佐藤 日色くん
佐藤 修一さん (阿歴内)



しゅうか
小出 朱華ちゃん
小出 三男さん (麻 生)



とわ
鈴木 杜和くん
鈴木 孝さん (川 上)

おめでとうございます

長寿 88 歳

〈令和7年2月撮影〉
掲載に同意いただいた
方のみ掲載してい
ます。



安田 弘子さん
(阿歴内)



村山 生朔さん
(常 盤)



中島智恵子さん
(川 上)



フォトニュース+

塘路小中学校の様子をさらにお届けします！



人口と世帯 (令和7年2月末現在)
人口: 6,823人 男 3,345人 / 女 3,478人
世帯数: 3,575世帯

広報 No.806 令和7年4月1日発行

■発行: 標茶町役場 ■編集: 地域振興係 ☎ 015-485-2111 FAX 015-485-4111
〒 088-2312 北海道川上郡標茶町川上4丁目2番地

